

財団法人北海道環境財団
北海道地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.heco-spc.or.jp>

3つの看板

環境活動 支援拠点

北海道環境サポートセンター

北海道の政策に基づく環境学習・情報交流拠点(1997年10月～)

温暖化防止 センター

北海道地球温暖化防止活動推進センター

温対法に基づく地域の温暖化防止活動支援、広報・普及啓発
(1999年4月～)

地方 EPO

環境省北海道環境パートナーシップオフィス

環境省の環境保全活動支援の地方拠点(2006年3月～)

財団法人北海道環境財団

市民・民間による自発的な環境保全活動を促進し、環境学習の機会の提供や情報交流など、さまざまな活動支援を行う非営利団体。

* 1997年4月設立(道の出資)

* 事務局 事業スタッフ 6名 (管理部門、契約職員除く)

温暖化防止活動
の活性化

環境学習
の創生、支援

環境保全活動
の支援

情報発信・普及啓発

地球温暖化防止活動推進センター

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、都道府県・政令指定都市等の長が域内に一つ指定する財団法人、社団法人、またはNPO法人。

- 全都道府県で指定(北海道1999年指定～鳥取県2010年6月指定)
- 市センターは浜松市が初指定(2010年4月10日)

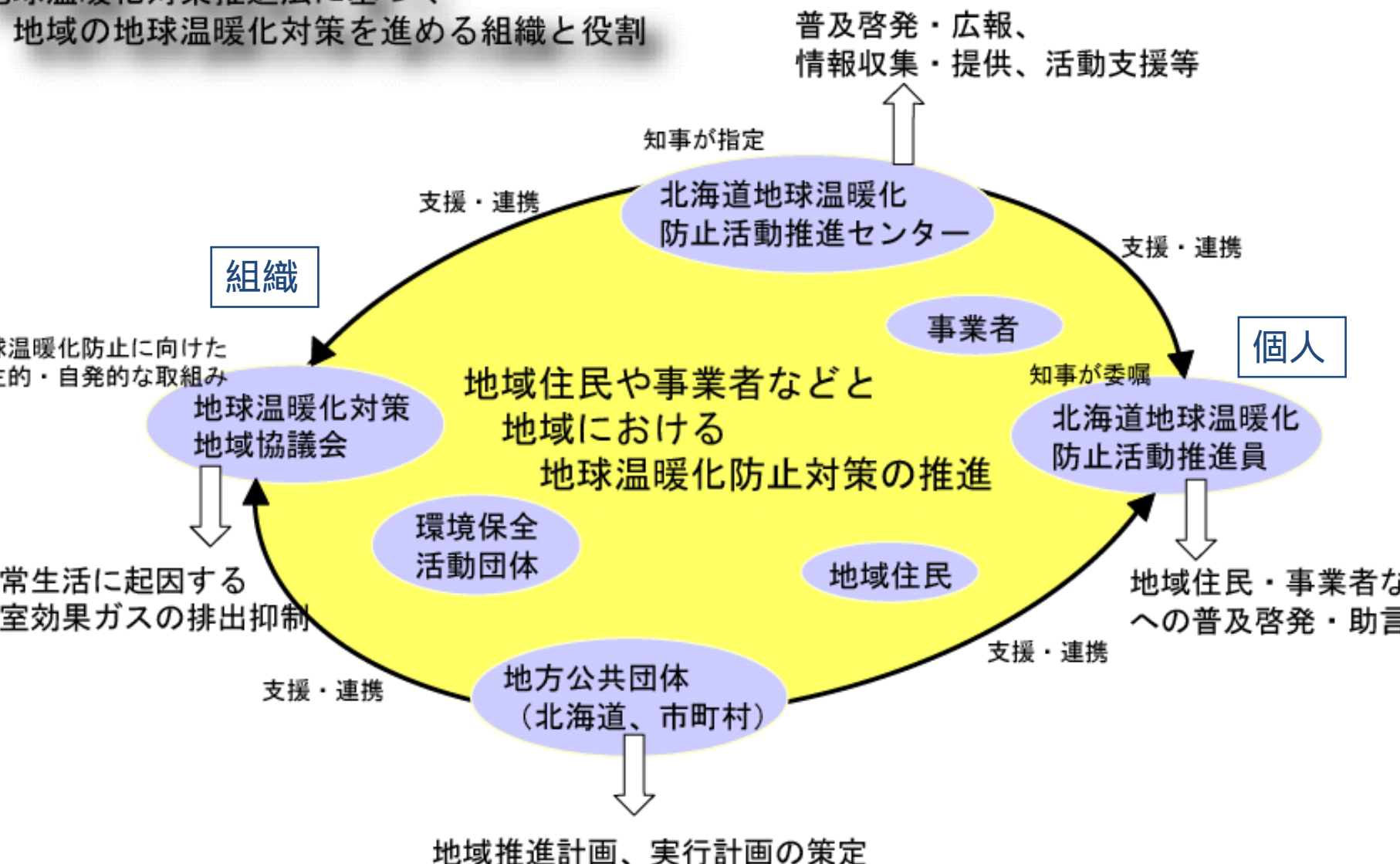
**温暖化防止活動の拠点として
広報啓発活動、活動支援、調査、相談助言等を行う**

地域で取組を進める主体について

(地球温暖化対策推進法による)

作成:北海道センター

地球温暖化対策推進法に基づく
地域の地球温暖化対策を進める組織と役割



啓発・広報の例

地球温暖化の現状および地球温暖化対策の重要性についての啓発、広報。

学習会、セミナー



啓発イベント



地域ラジオ放送



子供向け環境教室



研修ツアー（道内・海外）



情報収集・提供の例

道内の温暖化防止対策事例を情報収集。



【沼田】沼田町(2007年度全国銅賞受賞) 雪氷冷熱エネルギーの活用



- 1999年に完成した新庁舎建設により、1500㎡の雪氷冷熱エネルギーを有効に活用する。年間約100万kWhの削減効果は、約1000tのCO₂削減に相当する。
- 2011年、国の省エネ法(省エネルギー法)に基づき、省エネ率20%以上の建築物として認定された。
- 2012年、省エネ率20%以上の建築物として、国土交通省から「省エネ建築物」の認定を受けた。
- 雪氷冷熱エネルギーの活用により、省エネ率20%以上の建築物として認定された。
- 2012年度、省エネ率20%以上の建築物として、国土交通省から「省エネ建築物」の認定を受けた。

【稚内】稚内新エネルギー研究会(2008北海道最優秀賞) 最北端から最先端へ ～新エネルギーを活用した地球環境に優しいまちづくり～



- 2007年度、北海道最優秀賞を受賞した。太陽光発電の導入により、年間約100万kWhの削減効果は、約1000tのCO₂削減に相当する。
- 2008年度、北海道最優秀賞を受賞した。太陽光発電の導入により、年間約100万kWhの削減効果は、約1000tのCO₂削減に相当する。
- 2009年度、北海道最優秀賞を受賞した。太陽光発電の導入により、年間約100万kWhの削減効果は、約1000tのCO₂削減に相当する。

● 2009年度、北海道最優秀賞を受賞した。太陽光発電の導入により、年間約100万kWhの削減効果は、約1000tのCO₂削減に相当する。

地球温暖化防止活動推進員への活動支援

推進員とは

- ・ 温対法に基づき北海道知事より委嘱されている。
- ・ 自主的、自発的な活動を求められ、ボランティア活動が中心。
- ・ 道の推進員は28名。(全国に約7000名)

推進員に期待される役割

地球温暖化の現状及び地球温暖化防止の重要性について住民の理解を深めるための普及啓発に努める。

住民や事業者からの地球温暖化防止活動に関する相談に応じるとともに、その求めに応じ日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制等のための調査、指導、助言を行う。

温暖化防止の取組事例、活動を通じて得た情報の提供等を行う

環境NPO等の活動の活性化や地域協議会の設置支援等、地域における組織的な取組を誘導する。

地球温暖化対策のために国、道、市町村が行う施策及び北海道地球温暖化防止活動推進センター、地域協議会等が行う事業や取組に積極的に協力する。

・地球温暖化防止を促進するために

地域に根ざした

「派遣依頼による講演等」

「自主的・積極的な活動」 を行う。



講演活動
(新保推進員、2009釧路)



フリーペーパーへの連載
(辻推進員、北見圏)



学校への出前教室
(家次推進員、2008富良野)

推進員トップページ 推進員について 推進員の紹介 推進員の活動事例

北海道地球温暖化防止活動推進員

20世紀を通して地球の温度は0.6℃上昇したといわれています。
北極海の海水は、1970年代から4割も減っていると伝えられています。
日本は世界4位の温室効果ガス排出国であり、
北海道は一人当たりの排出量が全国平均の1.5倍超にも達しています。

温暖化防止活動に取り組みませんか？
「地球温暖化防止活動推進員」が
皆さんをお手伝いします。

- 新着情報
 - 04.01.14 [宮森推進員](#)活動事例を更新しました
 - 04.01.13 [千葉推進員](#)活動事例を更新しました
 - 04.01.06 [区部推進員](#)の情報を更新しました
 - 05.12.28 [平岡推進員](#)の情報を更新しました
 - 05.10.19 北海道地球温暖化防止活動推進員ホームページを開設
- 情報メニュー
 - 推進員について
 - 推進員の紹介
 - 推進員の活動事例

北海道地球温暖化防止活動推進員

title: エコキッキング 宮森推進員

(実施場所/年月) 札幌市中央区南一条西10丁目
平成24年7月11日(土)19:00~19:30

●内容

環境問題として北海道で初めて、環境省協賛の環境教育システム「エコキッキング」を実施。エコキッキングの意義や仕組みや調理や生活する上でのポイント、資源回収の重要性や家庭でのリサイクルの仕組みについて説明しました。

環境省協賛のメニューは、地元産の食材を使った「胡麻が香るスープ」が大好評。エコキッキングの意義や仕組みや調理や生活する上でのポイント、資源回収の重要性や家庭でのリサイクルの仕組みについて説明しました。

※この開催は、エコキッキングの認定指導員のアドバイザーを務められた山根博康氏の協力により、団員教育の場での開催が初めて実施されたこととなります。

(参加者 参加人数:14名)

北海道地球温暖化防止活動推進員

title: 第2回HAPリフードマイレージセミナー 区部推進員

(実施場所/年月) 札幌市エコニシティセンター1階調理実習室
平成24年7月15日(土)

●内容: 経産省主導で開催された「第2回HAPリフードマイレージセミナー」で、親子で参加した省エネのキッキングを実施しました。

地元の食材を使ったメニュー11品別の食材産地のシチュアードにんじんスープ、さつまいもスープ「ゆめのかエコキッキング」環境意識啓発で実施し、食料にかかるときのポイントも考え、何ができるか色々な材料を揃えること、調理時はエコキッキングを効率的に使う、身近な省エネの取り組みをしました。

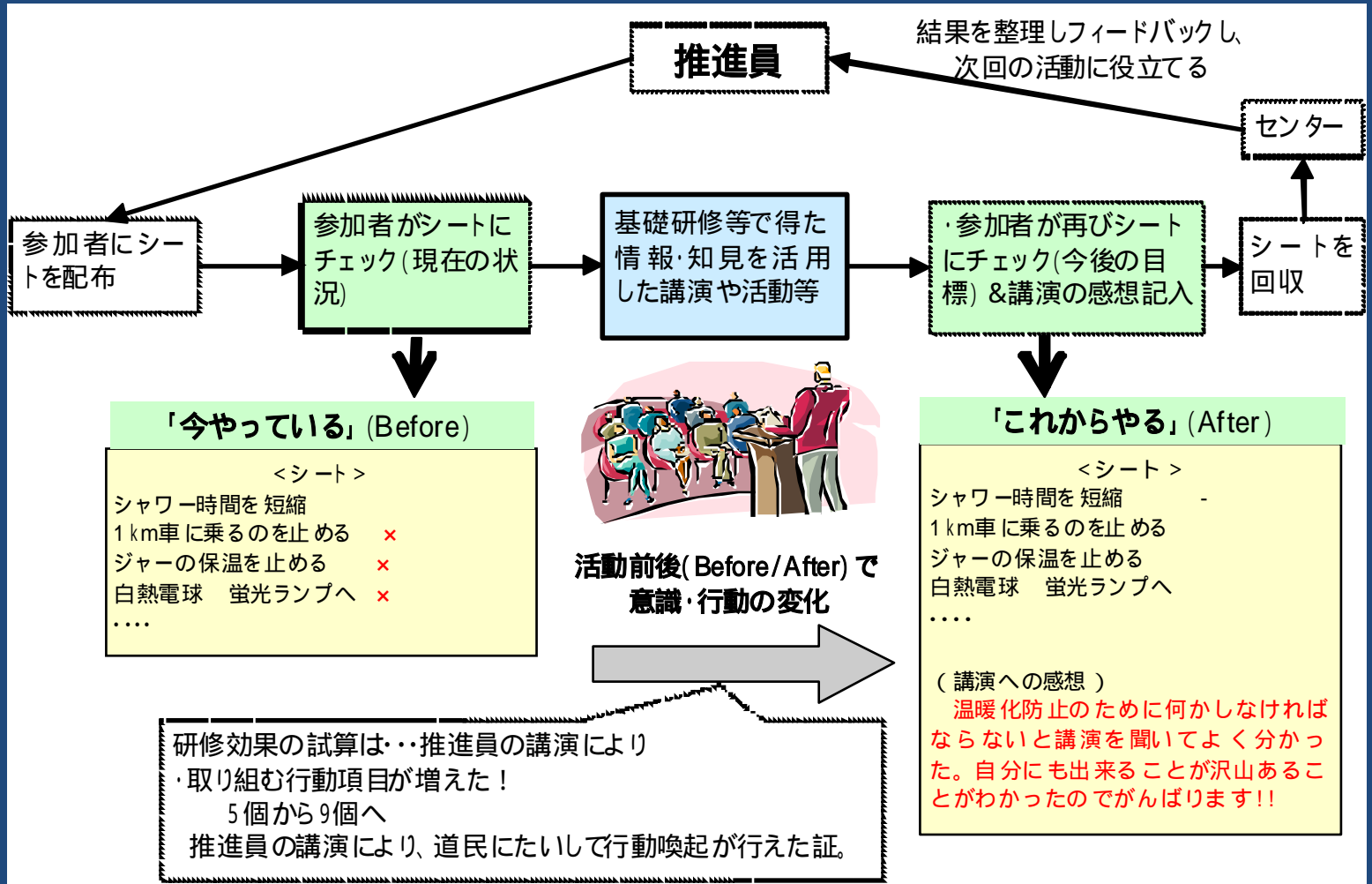
フードマイレージとは、生産者が作成した商品の食材と輸送品とのCO2排出量の比較がわかる資料(リスト)を配布し、さらに、道庁庁内の村さんから地元アイヌ料理の紹介(ベジタリアン)と朝食もあり、地産地消の場では、アイヌ文化を親子で楽しく学ぶのセミナーになりました。

資料のCO2はどれくらい? 資料はエコキッキング 資料はエコキッキング

(参加者 参加人数:39名(親子18名、子ども21名))

推進員活動の評価調査

2009年度の推進員活動のうち、80回の機会を実施。
約3300名の道民を対象に行う。



1人でどのくらい二酸化炭素を出しているの？ 減らせるの？

地球温暖化の原因になっている二酸化炭素。ここで紹介している20個の行動を全く行わない場合は、1日あたりで1人1.552gの二酸化炭素を出していることになります。あなたは、このシートで紹介している取り組みの中で、どのくらい減らせますか？ (※詳細：みんなの暮らしを良くする環境チームマイナスイネ「家のチャレンジ実施」)

手順

※このシートは複写式のため、記入は1枚目のみです。

- 1) ①-③であなたが現在取り組んでいる項目には、黄色の□(「やっている」)内○(「マル」)をつけてください。
- 2) ①-③であなたがこれから取り組んでほしい項目には、緑色の□(「これからやる」)内○(「マル」)をつけてください。
- 3) 記入後、1枚目を切り取ってスタッフに渡し2枚目は持ち帰り、生活の中でチャレンジしてみてください。

チェックシート

夏に、冬に...

こんなことでできれば...	1人1日 削減できる CO2削減量	削減率	CO2削減率
①夏の室温の設定温度を25℃から26℃に2℃高くする。	96g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②暖房の利用時間を1時間減少する。	37g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③夏の室温の設定温度を25℃から26℃に2℃高くする。	83g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

お料理、炊事の場面に...

こんなことでできれば...	1人1日 削減できる CO2削減量	削減率	CO2削減率
①煮込みや蒸すとガスコンロの温度を早く設定する。	29g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②ジャーの保温をやめる。	37g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③冷蔵庫にものを詰め込み過ぎない。	18g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④冷蔵庫の扉を開けている時間を短くする。	3g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自動車を使う時に...

こんなことでできれば...	1人1日 削減できる CO2削減量	削減率	CO2削減率
①アイドリングを5分短くする。	63g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②定速走行に合わせたアクセル「eスタート」をする。	207g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③道路の少ない道筋をする。	73g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

お風呂・トイレで...

こんなことでできれば...	1人1日 削減できる CO2削減量	削減率	CO2削減率
①シャワーの使用時間を1回1分短くする。	74g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②入浴は短縮を心がける。	86g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③風呂のお湯を利用して身体や顔を洗う。シャワーを使わない。	371g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④空かないときは湯を流す使用のフタを閉める。	15g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

家電製品の使い方で...

こんなことでできれば...	1人1日 削減できる CO2削減量	削減率	CO2削減率
①洗濯機をこまめに乾かして乾燥機を利用。	66g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②日熱乾燥を標準乾燥ランプに切り替える。	45g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③掃除機・除湿機・加湿器のフィルタを定期的に掃除する。	2g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④テレビを消さないときは待機。(電源OFF)	6g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

買物のときに...

こんなことでできれば...	1人1日 削減できる CO2削減量	削減率	CO2削減率
①買い物袋は、マイバッグを持ち歩く。	62g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②お惣菜の野菜を選ぶ。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③買物や通勤の時に自転車やバス、徒歩などを利用する。(自動車利用の削減を促す)	180g	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

*1人1日削減できるCO2削減量は、気候によって、または使用する家電製品のモデルによって異なります。

私は○(マル)をつけた取り組みを、**毎日・週に4.5日・週に1.2日**のペースで実践します。

感想

取り組んでみて思ったこと、気づいたこと、感想などを書いてください。

1日あたり削減できるCO2削減量

削減率

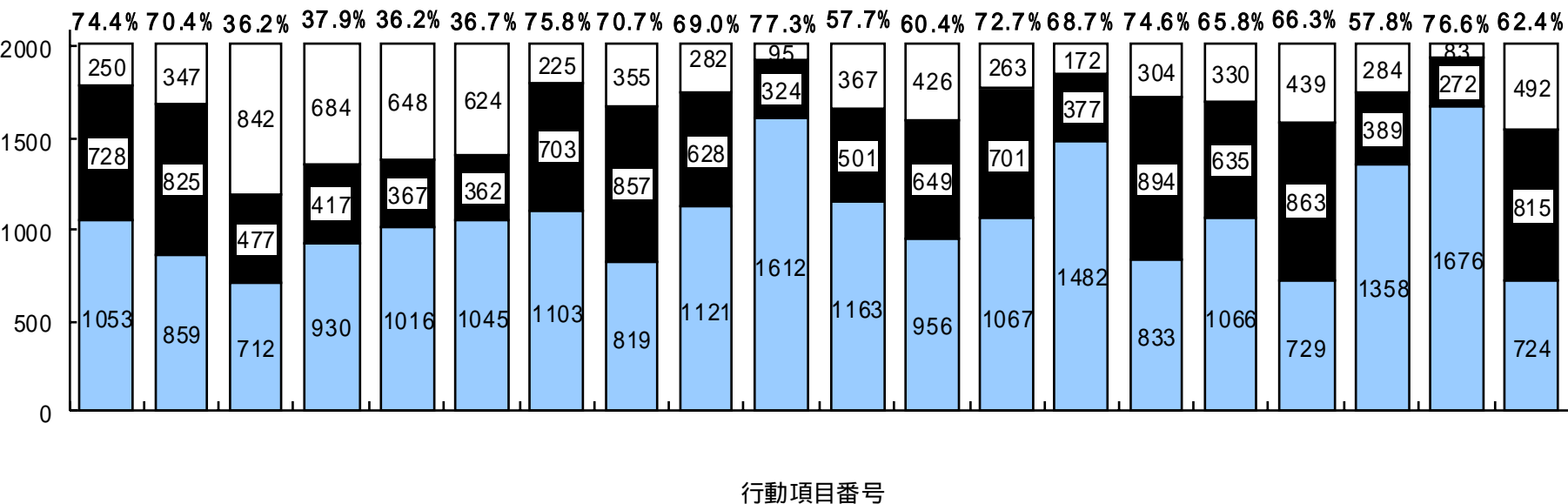
CO2削減率

[図1-4 推進員活動の「事前」と「事後」における行動項目チェック人数と啓発効果度]
「(1) 講演の機会」

■ 講演前に「今やっている」とした人数 (参加者の現状) ■ 講演後に「これからやる」とした人数 (推進員活動後)
□ 講演後もチェックしなかった人数

(N=2,031人)

太字は啓発効果度 [En] を表す



推進員活動による啓発効果度Enを以下のとおり定義し、定量化を試みる。

$$E_n(\%) = \frac{\text{講演後に「これからやる」とした人数 (チェック数)}}{\text{講演前に「やっていない」とした人数 (チェック数) } 1}$$

2010年度の事業

学校、企業と連携

「子供向け体験教室～地球温暖化ふせぎ隊～」

企業、自治体と連携

「エコアクションポイントモデル事業実施」

「市町村との啓発事業実施」

行政と連携

「道内の国内クレジット普及促進」

NPOと連携

「バイオマス利用実証モデル事業」

他事業

「うちエコ診断事業」

等々……

うちエコ診断事業

家庭部門の温室効果ガスは増加の一途。
家庭で排出される温室効果ガス(CO₂)を可視化(見える化)し、
診断員が対策をアドバイスし家庭の温暖化対策の促進を狙う。
全国規模(全国の各温センター)で今年度から試験的に実施される。

ようこそ!

うちエコ診断

から前

● アンケート入力・確認する
○ アンケート診断結果を見る

Let's Go!

「うちエコ」とは、チーム・マイナス6%
が目標とする、古来性を通じて「家(うち)
」の中からできる温暖化対策のことです。「うちエコ診断」はうちエコを
応援します。

アンケート (基礎情報) 入力

お名前: 鈴木さん | お住まい: 札幌市東区 | 世帯数: 2人

AutoSave | 保存してはるるを保存

■ ガスの種類: LPガス
 ■ コンロの熱源: ガス
 ■ 風呂の熱源: ガス
 ■ 電気の水増し金銭的をしている: している していない

	電気代	ガス代	灯油代
冬 (1ヶ月間)	2500円	12000円	3000円
春・秋 (1ヶ月間)	2000円	7000円	500円
夏 (1ヶ月間)	2000円	6000円	0円

■ 自家発電の月年平均燃料代(等価) リットル

※ガソリン ※軽油 ※使っていない

■ 家族の人数: 1人
 ■ 浴槽にためる回数 (夏): 週3日(回)
 ■ 浴槽にためる回数 (夏以外): 週3日(回)
 ■ 家族全員でシャワーを使う時間 (夏): 15分
 ■ 家族全員でシャワーを使う時間 (夏以外): 15分

■ 普段使っていることのない機器の名称は:
 ■ 既製で利用している燃料はどこからですか
 ■ 節電や使っていない家電をこまめに処分していませんか

アンケート実施



CO2の見える化



対策メニュー提案 アドバイス実施